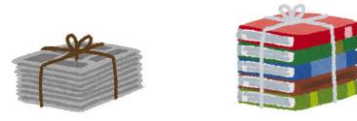


# 6月 行事予定

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4 囲碁ボール大会 9:00~	5 休館日	6	7	8	9	10 人権を考える日
11 資源リサイクル活動 8:00~	12 休館日	13	14	15 さわやか女性学級 「ヨガ」10時~	16 国安地区人権教育推 進協議会総会 19:30~	17
18	19 休館日	20	21 ガラスびん等	22	23	24
25	26 休館日	27	28 古紙 国ちゃんカフェ 10:00~	29 ほがらか人生大学「笑って 歌って健康にいい」10時~	30	

国安地区愛護班連絡協議会よりお知らせ

## 資源リサイクル活動にご協力ください!

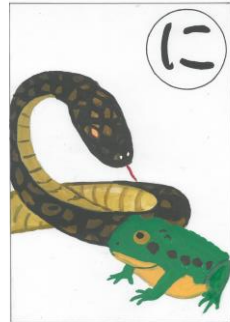


- 日 時 6月11日(日) 8:00~
- ※雨天予備日は6月18日(日)
- 収集品目 新聞、雑誌、段ボール

(注)・種類ごとに分けて紐で縛っておいてください。  
・布類、金属類、びん類(ビールびん含む)は回収しません。  
・団地は実施しません。

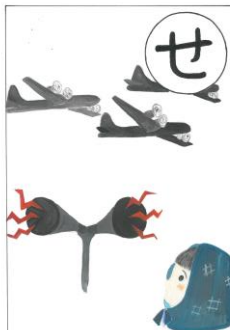
## 故郷の言い伝えや歴史を次世代に伝える

～ 国安昭和思い出カルタ ～ 第22回



### に らみ合う 大蛇と ガマの 果たし合い

国安の「ひょうたん池」(上の池?)に住む大蛙(ガマ)と鎮守の森の大蛇が、美しい村娘をめぐる、池の橋の上で死闘を繰り広げたという伝説が残っています。



### せ 迫り来る 戦闘機 鳴り響く 空襲警報

昭和二十年太平洋戦争末期には、B29戦闘機が国安地区の上空にも度々来襲し、空襲警報が鳴るたびに、人々は、防空頭巾を被り、防空壕へ急ぎました。

## 国安俳句会 学級生作品

連山の雲脱ぎ捨てし立夏かな  
短夜の明けゆく空の天守かな  
老鶯や石鎚の嶺暮色濃く  
過ぎし日の遭難悼む卯波かな  
柿若葉石垣高き山の里  
下戸の夫上戸の妻や初鯉

越智 椿  
越智 綾子  
吉田百合子  
菅生 正恵  
近藤 憲史  
岸田千寿子

2023年(令和5年)6月号

No.368

公民館  
だより

# くにやす



国安地区4月末現在	前月対比
男 1,720人	(+3)
女 1,951人	(-5)
計 3,671人	(-2)
世帯数 1,818戸	(+2)

〒799-1323 西条市桑村127番地1  
電話・FAX: 0898-66-5028  
E-mail: kuniyasu-k@saijo-city.jp

西条市のホームページより公民館だよりのカラー版もご覧ください

## にこにこブック

新刊入りしました!見に来てください

にこにこブックコーナーは公民館1階ロビーにあります。お気軽にご利用ください。



- ◎ 栗山ノート 栗山 英樹 日本ハム監督8年目の人生ノート
- ◎ おちくぼ姫 田辺 聖子 2023年本屋大賞超発掘本!
- ◎ 草木とともに 牧野 富太郎 朝の連続テレビ小説主人公の自伝的エッセイ
- ◎ ホテルクラシカル猫番館2 小湊 悠貴 パン職人のお話し
- ◎ 月の立つ林で 青山 美智子 2023年本屋大賞ノミネート!
- ◎ 婚活食堂1・2 山口 恵以子 この春テレビドラマ化
- ◎ ひなた弁当 山本 甲士 逆境に陥った主人公を応援したくなる心温まる感動
- ◎ プラチナデータ 東野 圭吾 人気作家作品
- ◎ 四国遍路 別格二十霊場

空海伝説の地を旅する 田中 ひろみ 2023年は空海生誕1250年

にこにこブックは地域の皆さんの文庫です。お読みにになりたい本がございましたら、公民館までご希望をお知らせください。

## 「石鎚黒茶の製造技術」国重要無形民俗文化財指定記念シンポジウムの開催

令和5年3月22日に本市の「石鎚黒茶の製造技術」が発酵茶の伝承や製造技術の変遷を理解する上で重要であるとして、国の重要無形民俗文化財に指定されました。それを記念してシンポジウムを開催します。ぜひご来場ください。

日 時 : 6月4日(日) 13時15分~16:30分(12時45分開場)  
場 所 : 西条市小松公民館  
主な内容: ○指定団体の紹介 ○記念講演 ○パネルディスカッション  
○製造工程を紹介するパネル展  
※当日は、試飲会等を行います。(都合により中止する場合があります。)  
時間 12時00分~13時00分



問合せ 市庁舎新館4階社会教育課 TEL0897-52-1628



## 第1回国安公民館協力委員会の開催

4月27日(木)に国安公民館協力委員会が開催され、今年度の事業計画等が審議されました。地域のみなさんにご協力いただきながら、事業を推進していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年度の委員の方々をご紹介します。(順不同、敬称略)

役職名	氏名	役職名	氏名
委員長・国安上自治会長	渡瀬 賢治	国安地区老人クラブ会長	木原 偉和雄
高田自治会長	長井 章文	社会福祉協議会国安支部長	藤原 謙治
正法寺自治会長	井爪 喜久治	国安地区民生児童委員会	黒川 知子
国安下自治会長	豊島 定二	公民館自主学級長	長井 俊子
桑村自治会長	南條 博	消防国安分団長	長井 伸
団地自治会長	高橋 清敏	(スポ少) ソフトボール代表	長井 良太
新市自治会長	木原 忠幸	(スポ少) ミニバス代表	崎田 亜由美
国安小学校長	山岡 健二	(スポ少) サッカー代表	藤原 浩二
国安小学校 PTA 会長	藤岡 伸行	(スポ少) バレーボール代表	田鍋 辰見
国安地区愛護班連絡協議会会長	佐伯 理恵	学識経験者	上岡 惇
東予西中学校 PTA 副会長	片山 将造		

## 令和5年度 国安公民館事業のご紹介

<b>4月</b> ○第1回国安公民館協力委員会 	<b>5月</b> ○公民館学級長会 ○国安地区人権教育推進協議会役員会	<b>6月</b> ○国安地区囲碁ボール大会 ○国安地区人権教育推進協議会総会 ○ほがらか人生大学① ○さわやか女性学級①
<b>7月</b> ○第1回青少年健全育成協議会 ○盆踊り講習会 ○ほがらか人生大学② ○なごやか料理教室① ○第1回敬老会打ち合わせ会 ○チャイルド・サマー・スクール	<b>8月</b> ○第2回敬老会打ち合わせ会 ○第1回国安地区ふれあい文化祭実行委員会 ○チャイルド・サマー・スクール 	<b>9月</b> ○国安地区敬老会 ○たのもづくり集会 ○ほがらか人生大学③ ○なごやか料理教室② 
<b>10月</b> ○子ども相撲大会 ○子どもみこしかきくらべ大会 ○国安地区人権・同和教育学習会 ○第2回国安地区ふれあい文化祭実行委員会	<b>11月</b> ○ほがらか人生大学④⑤ ○美化活動 ○国安地区ふれあい文化祭 ○国安地区囲碁ボール大会	<b>12月</b> ○防火講習会・年末大掃除・公民館学級発表会 ○第2回青少年健全育成協議会 ○しめ縄づくり ○親子凧作り教室
<b>1月</b> ○小学生と昔の遊び ○さわやか女性学級②	<b>2月</b> ○第2回国安公民館協力委員会	<b>3月</b> ○春季大運動会実行委員会

家庭子育て教室は、日時が未定です。

## 令和5年度 国安公民館サークル学級長会の開催

5月11日国安公民館を利用してサークル活動している代表の方に集まってきました。各サークルの活動内容を報告したり、人権研修として人権啓発ビデオを鑑賞したりしました。今後も楽しく活動していただきたいと思っております。



## 高齢者交通安全教室を開催します

自動車を運転される高齢者の方を対象に、体験型の交通安全教室を開催します。ドライブレコーダーによる運転のチェックを行うことで、ご自身の運転技能を再確認することができます。ぜひ、ご参加ください。

- 日 程：令和5年6月19日(月) ※1日あたり午前・午後の2回開催
- 時 間：午前の部 9時～12時 ・ 午後の部 13時30分～16時30分
- 場 所：西条ドライビングスクール(西条市石田284番地)
- 対 象：市内在住のおおむね65歳以上の方で、自動車運転免許をお持ちの方
- 定 員：1回20人(先着順)
- 応募締切：6月12日(月)
- その他：当日は運転免許証と、眼鏡等運転に必要なものをお持ちください
- 申込先：西条市役所危機管理課くらし安全係 TEL0897-52-1284(直通)



～毎月10日は人権を考える日～  
映画「破戒」から考える

昨年、水平社創立100周年記念事業として映画『破戒』が製作されました。

主人公は瀬川丑松。丑松は、故郷を出るとき父親から「いいか丑松、部落民という素性を隠せ。」と言われます。この戒めを守って、素性を隠したまま、やがて丑松は小学校の教師となり、子どもたちに慕われます。自分が授業をする教室で、子どもによる部落差別事象が起こります。丑松は、子どもたちに差別することの間違いを話します。そして、誰もが胸を張って生きていくことの素晴らしさを話して聞かせるのです。ですから、子どもたちにとって丑松は、すべての子に対して同じ態度で接する大好きな先生なのです。

また、この戒めを守って、大人の部落差別事象の現場に出くわした時には、じっと耐えて見て見ぬふりをします。「止めたい。止めさせたい。」という気持ちをどのようにして押しとどめていたのでしょうか。どんな気持ちで我慢して耐えていたのでしょうか。丑松の尊敬する猪子蓮太郎は、出自を明らかにして活動する思想家です。その猪子に、手紙を出し面会することができました。しかし、猪子蓮太郎は壮絶な死を遂げます。その後、丑松の素性が、様々な形で、悪意ある人によって容赦なく暴かれていくのです。

思い悩む丑松は、ついに決意します。父の戒めを破ることを。学校で子どもたちに自分の出自を話します。そして涙ながらに懺悔します。・・・懺悔しなければならないことでしょうか。部落差別は、絶対に許すことができないものです。明治時代は、そういう時代だったのでしょうか。今の時代には考えられないことです。20数年後には、水平社が創立され、宣言が高々と読み上げられます。「自らを誇りうる時が来たのだ。」

教師を辞し東京へ向かう丑松を、子どもたちと師範学校時代からの友達の教師が見送ります。丑松は子どもたちに言うのです。「生きていれば、きっとまた会える。」この言葉から、丑松の子どもたちへのメッセージが想像できます。「どんなに苦しくても、耐えろ。そして生きろ。」「この世の中をきっと変えてみせるぞ。それまで、がんばれ。」「みんなと一緒に、差別のない世の中にしていくぞ。」「仲間を信じろ。仲間と一緒に耐えられるぞ。仲間と一緒に変えられるぞ。」もっともっとたくさんの思いを込めて語ったのだと思います。

「愚かだから差別するのではない。弱から差別するのだ。」劇中の言葉で、印象に残った言葉です。私なりに解釈すると、差別することは許されないことだと分かっている。それが分からないほど人間は愚かではない。差別するのは、自分を守ろうとして、自分以外の者を犠牲にしているのだ。自分以外の者を犠牲にして自分を守ろうとする狡さなのだ。差別することは、自分の弱さをさらけ出していることなのだ。

この弱さを克服していくことが、現在に生きる私たちの使命だと考えます。一人一人の弱さを克服して、住みよいまち西条をつくり上げていきましょう。